

令和5年度 学校関係者評価実施報告書

学校番号	74	学校名	静岡県立浜松湖南高等学校	記載者	渡辺 賢一
------	----	-----	--------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を推進し、能動的学習者を育成する	<ul style="list-style-type: none"> 「授業や家庭学習で学力が向上した」生徒 90% 「授業の中で、自分の考えをまとめたり、周囲と共有したりする機会が多い」生徒 93% 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ICTの活用や、授業公開、授業アンケートの2回の実施など、授業改善への取り組みは高く評価できる。 授業内でのアクティブラーニングは活発に効果的な実施ができている。学力の定着には学習内容の生徒個別インプット学習が必須となるがインプットすべき内容が明確になっており、その効果測定および進捗管理が重要だと思う。
イ	低学年より高い志の育成に努め、進路実現を図る	<ul style="list-style-type: none"> 進路行事実施を通しての進路意識の向上 1年生で志望分野が決定した生徒 95%以上、2年生で第一志望先が決定した生徒 90%以上 進路情報の提供に満足している保護者 90% 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な情報発信や講演、講座等、生徒それぞれが目標を明確にする機会を提供していると思う。 学年毎に生徒・保護者それぞれに対して適切な進路情報提供を行い、進路実現のための目標設定、学習習慣の定着・向上につながる指導ができるおり、進学実績につながっている。 新教育課程への移行に伴う、進路指導に使える時間の減少、先生方の時間外指導の増加については、可能な対応をお願いしたい。
ウ	規律ある生活の中で、自主・自律の精神を育成する	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶ができる生徒の育成 「校則等を守り、高校生らしい服装・行動をしている」生徒 95% 「学校行事や部活動等に生徒が主体的に取り組んでいる」生徒・教職員 90% 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 湖南生の礼儀正しさ、あり方にはいつも感心しており、湖南高校のよき伝統だと思う。 舞阪駅周辺での生徒の様子からすると高校生らしさを感じることができ、また歩きスマホの生徒も少ない。 生徒の規範意識の向上と主体性の育成に引き続き尽力願いたい。 各行事、部活動に積極的に取り組む生徒さんが多いことがうかがわれる。

様式第5号

エ	読書習慣の定着と読書量の増大、文化的活動の推進を図る	・読書週間 年2回実施 ・図書館開放年190日 ・1・2年生の年間読書数平均9冊	A	A	・これほどデジタルが普及した中で、本を手にとって読むことの大切さが維持されている。 ・読書推進の取組の効果が、年間読書数の平均値増(0.6冊)に表れていると思う。
オ	心身ともに健康で過ごすことができる校内環境を整備する	・「自分の悩みや不安がある時、それを打ちあける人や機会・場所がある」生徒 90% ・健康観察を通じての情報共有 ・校内の清掃点検において全チェック箇所が良好な状態になっている。 ・「訓練や研修会等によって安全・安心に対する意識が高められた」生徒・教職員 90% ・施設・設備の事故0件	B	B	・心身共に健康で過ごすことができる学校環境について、今できることを実践されていると思うので、修正、変更の必要があればその都度更新すればいい。 ・「自分の悩みや不安があるとき、それを打ち明ける人や機会・場所がない」と回答した生徒が 15% を超えており、教職員の日常的な観察により、生徒の変化をとらえ、個に応じた対応を期待したい。 ・清掃への取り組みが良好であるという点は高く評価できる。 ・防災への取り組みもさらに充実されることを期待したい。 ・静岡県は大地震が予想されている地域のため防災委員会の活動を学校全体で情報共有してほしい。 ・生徒が悩みや不安を抱えている場合、深刻な場合は早期の対応が必要になるので、SCの予約待ち状態解消への具体的対策が必要だと思う。
カ	職員の校内外の研修を充実させる及びワークライフバランスの推進を図る	・探究学習、育てたい資質・能力を意識した研修機会の充実 ・「研修機会を積極的に活用した」事務部職員 80% ・管理職による定時退庁の働きかけ ・業務改善の実施年間1件以上	A	A	・ICTの活用の充実を意識した取り組みが積極的に行われている点が高く評価できる。 ・教職員や事務職員の業務負担の軽減への取組、ワークライフバランス推進への取組についても高く評価できる。 ・研修へ積極的に参加し、研修内容を授業等、学校活動に反映されることを期待したい。
キ	地域・中学校・保護者等への広報発信を、計画的・継続的に行う	・「教育方針・教育活動をわかりやすく伝えている」保護者 85% ・管理職・運営委員による中学校訪問年2回以上	A	A	・情報発信が積極的に行われ、保護者にも評価されたことがわかる。今後はICT、SNS等の活用にも期待したい。 ・ホームページはシンプルで見やすい印象がある。「ここが知りたい浜松湖南」のページでは読

様式第5号

	・「教育活動に魅力を感じた」中学生一日体験入学・オープンスクール参加者 96%			者との目線で内容が掲載されている。
ク	グローバルな視野の育成及び国際交流を推進する	・「国際交流事業がグローバルな視野の育成に役立った」生徒 90% ・英語学科の生徒が卒業時までに英語検定 2 級以上取得する割合 90%	A A	・国際的な人材育成に注力されていると感じる。一方で、本来の「グローバル」という概念の生徒たちの正しい理解が浸透することを期待する。 ・英語科のオーストラリア語学研修が再開され、高い満足度が得られたこと、国際的な交流活動が実施されていることを高く評価する。 ・外部から講師を招いたり、近隣の外国人学校と交流したりするなど充実した学びだと思う。 ・国際交流事業においては ICT の活用を期待したい。
ケ	参画と連携・協働による生徒の異文化理解・多文化共生及び地域と連携した学習に取り組む	・「様々な交流・連携事業への参加により異文化理解が深まった」生徒 95% ・国際交流・異文化理解・多文化共生・高大連携事業等への参加希望生徒延べ 250 人	A A	・国際人としての視野をもち、多文化共生社会の担い手としての潤滑油となれる人材育成を期待する。 ・国際交流・異文化交流および高大連携事業への参加が生徒の動機づけにつながったことがわかる。次年度の取組にも期待している。 ・国際交流・異文化理解を深める事業参加希望者が前年よりも 40 名増加しており生徒の主体性を向上させながら施策実施できていることが評価できる。